

3類型	鋳工業品	通巻番号	3-23-178
地域資源名	木曾漆器	認定日	平成24年2月3日
地域	長野県塩尻市	所管省庁	経済産業省

事業名：木曾漆器400年の歴史と伝統技術を生かした、ガラスへの漆塗りによる洋風漆器の開発事業

会社名：有限会社丸嘉小坂漆器店

所在地：長野県塩尻市大字木曾平沢1817-1

連絡先：TEL：0264-34-2245
FAX：0264-34-3243

H P：http://www13.plala.or.jp/suitouyo/

事業概要(新たな活用の視点)

漆器産地は全国的に衰退傾向にあり、木曾漆器も例に漏れることなく、生産高は木曾漆器工業協同組合全体で1992年の78億円から2011年は27億円まで落ち込んでいる。

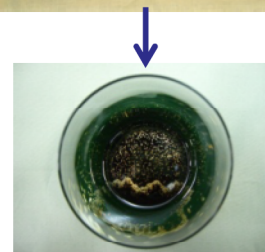
当社では平成8年長野県工業試験場(現工業技術総合センター)と共同でガラスに漆を塗る技術を開発し、漆ガラス「すいとうよ」として、おもにワイングラスなどを商品化してきた。しかし、ワイングラス中心の「すいとうよ」では用途に限りがあり市場が狭い。本事業ではテーブルウェアとしての広い範囲で市場拡大を図り、食洗機や業務用での使用に耐えられる技術を開発し、今までにないニーズに対応した新しいガラス漆器の製品化を目指す。木曾漆器の技術を生かすことで耐久性に優れたガラス漆器を生み出すことができる。



【鉢・試作品】



【グラス】



【ガラス底の加飾】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

素地をガラスにすることで、フォークやスプーンなどの使用が可能で、従来の漆器製品にはない新しい要素を生み出す。また食洗機や業務使用に対応することで、同類製品との差別化を図る。

◆市場性

素材や形状、耐久性等の新しい要素を漆器に加えることで、漆器市場だけでなく、テーブルウェア全体に市場拡大を図る。

◆販路

現在チャンネルのある各地域の有名デパートでの販売をはじめ、地元漆器問屋を通してホテル・旅館・レストラン等への販売も積極的に行っていく。

地域資源における関係事業者との連携

木曾漆器工業協同組合・木曾地域地場産業振興センターと連携して、協力工場の確保や販売店の開拓を行うことで、地元業者と密接に関わり、当地域産業の新たな起爆剤となることを目指す。また、技術開発面では長野県工業技術センター、デザイン面では地域資源製品開発支援センターの協力のもと進めていく。